

平成 30 年 8 月吉日

関連企業等 各位

日本ウマ科学会

第 31 回日本ウマ科学会学術集会  
ご協賛依頼文書の送付について

拝啓

残暑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素から当学会の運営に際して格別のご高配を賜り、昨年日本ウマ科学会学術集会においても多数の企業にご協賛を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、30 回の節目となった昨年の学術集会には多くのご参加者にお越し頂き、予期した以上の成果を得て、盛会裡に終えることができました。

さて、「第 31 回日本ウマ科学会学術集会」は、本年 12 月 3 日（月）と 12 月 4 日（火）の両日、昨年と同様、国際ファッションセンター（KFC Hall & Rooms：東京都墨田区横網 1-6-1）において開催されます。この間、初日（12 月 3 日）は、「第 60 回日本中央競馬会（JRA）競走馬に関する調査研究発表会」との併行開催を予定しております。

つきましては、ウマ産業に関わる各種の企業および業者各位におかれましては、当学会の開催趣旨および目的をご理解のうえ、是非、当学会開催へのご協賛を賜りたく、ここに「趣意書」、「ご協賛のお願い」および「協賛申込書」を添えて、ご案内させていただきますので、よろしくご高配のほど、お願い申し上げます。

敬具

**協賛申込書送付先**

〒158-0086 東京都世田谷区尾山台 3-10-9 アームズ株式会社内  
日本ウマ科学会学術集会 企業協賛事務局 宛

**協賛に関する問い合わせ先**

（誠に恐れ入りますが、メールまたは FAX でお願い致します）

電話・FAX： 03-6324-6781

e-mail：[info@ahrms.jp](mailto:info@ahrms.jp)

※日本ウマ科学会事務局では回答できかねますので、企業協賛については、企業協賛事務局にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

第 31 回日本ウマ科学会学術集会

趣 意 書

日本ウマ科学会

平成 30 年（2018 年）8 月 1 日

平成30年8月吉日

第31回日本ウマ科学会学術集会  
ご協賛のお願い

日本ウマ科学会  
会長 青木 修

拝啓

錦秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

また、日本ウマ科学会の活動運営に際しましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学会では別記概要のとおり第31回日本ウマ科学会学術集会を今年も2日間にわたり、開催する予定ですが、この会期に併行して同会場にて開催されます「JRA 競走馬に関する調査研究発表会」が今年で開催60回目を向かえることから、これを記念してJRAと本学会の共催にて「競馬産業の国際化－これまでの取り組みと将来－」をスローガンに、今では世界の一流国と肩を並べるまでに発展した日本の競馬の実情と将来展望を紹介し、関係者の意見交換の場となることを期待してシンポジウムを企画いたしました。

また、本学会では、「馬の新生子内科疾患」と題した症例検討会においても、馬獣医療にかかわる臨床獣医師や研究者が集まり、わが国の現状と問題点について議論します。本学術集会のなかで示される様々な情報や議論が、参加される多くの関係者の診療や馬の飼養管理の一助となり、併せてわが国の獣医療の発展に僅かでも寄与することを心から祈っています。

さらにこれら本来の学術集会の成果に加え、(1)馬の臨床に携わる獣医師をはじめ様々な分野の組織・人との連携強化、(2)馬の臨床において解決すべき課題の整理・意見の交換などの上積み効果を期待しつつ、(3)多数の獣医関連企業からの最新技術や製品のご展示により、動物用医薬品や動物用医療機器、生産資材、書籍などの最新情報提供の場も設営して、幅広い情報発信の機会とすべくこの学術集会の全体像をイメージして、種々立案企画しているところです。

つきましては、日本ウマ科学会および当学術集会の目的・趣旨をご理解の上、企業展示へのご参加およびご協賛について、特段のご高配を賜りたく、ここにお願ひ申し上げます。

なお、ご協賛金については、学術集会の運営に関わる経費ならびに学会活動費用に限定して使用いたしますことを申し添えます。

敬具

## I 学術集会開催の趣旨

日本ウマ科学会は、ウマの改良増殖および馬事産業の振興ならびに馬事文化の伝承に資するため、馬に関する研究の推進と、それらの成果を社会に還元することを目的として、1990年3月31日に設立され、それ以降、目的実現のために各種の事業展開を行い、今では正会員数801名、賛助会員数12社

(2018年8月31日現在)を数えるまでに至っております。その事業の一環として、毎年11月末から12月初旬の2日間、学術集会を開催し、ウマを対象とした研究者や獣医師、さらにはウマの生産者や管理者あるいは乗馬愛好家などの実務者を含めて総勢400名を超える関係者が一堂に会し、ウマの獣医学や畜産学に限らず、ウマに関する人文科学や芸術などの幅広い分野の話題を募り、相互に情報を発信するとともに意見を交換し、現場のニーズに対応した学術や技術の向上と普及を推進しております。

本年は下記の概要にて「第31回日本ウマ科学会学術集会」の開催を予定しています。また、当学術集会の初日には、同会場において日本中央競馬会（JRA）の第60回競走馬に関する調査研究発表会も併行開催され、今年も総勢400名を超える参加者が見込まれています。

## II 開催概要

### 1. 学術集会の名称

第31回日本ウマ科学会学術集会

### 2. 開催期日

平成30年（2018年）12月3日（月）および4日（火）

### 3. 開催場所

国際ファッションセンター（KFC Hall & Rooms）

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-6-1 (03-5610-5801)

※企業展示と講演会場は同じ階ですが、エスカレーターをはさんで別会場です。

ただし、プラチナ・スポンサーは講演会場（KFC ホール）の入口付近にて展示を行うことができます。

また、ランチョンセミナーは、お弁当をメイン会場である KFC ホール内で提供できるため、直接より効果的な情報提供が可能になります（2社限定）

### 4. 主催

日本ウマ科学会

### 5. 主なプログラム

12月3日（月） 一般講演・ランチョンセミナー・企業展示・JRA との合同懇親会

12月4日（火） JRA との合同シンポジウム・一般講演・優秀発表賞候補講演  
学会賞受賞講演・奨励賞受賞講演・臨床関係外国人招待講演・  
臨床症例検討会・ランチョンセミナー・定時総会・企業展示

#### 【2018年奨励賞受賞講演】

（KFC Hall：12月4日（火） 10：00－10：30）

座長：田谷一善（日本ウマ科学会副会長）

テーマ：重種馬における子宮疾患に関する研究

講演者：滄木孝弘（帯広畜産大学）

**【2018年学会賞受賞講演】**

(KFC Hall : 12月4日(火) 10:30-11:00)

座長: 青木 修 (日本ウマ科学会会長)

テーマ: 馬のバイオメカニクスに関する研究

講演者: 高橋敏之 (JRA 競走馬総合研究所)

**【臨床委員会企画 症例検討会】**

(Room115 : 12月4日(火) 9:00-11:00)

座長: 宮越大輔 (NOSAI みなみ 家畜高度医療センター)

コメンテーター: Dr.

テーマ: 馬の新生子内科疾患 (仮)

パネリスト

1. 高齢の母馬 (輓系) から生まれた子馬の管理

滄木孝弘 (帯広畜産大学)

2. 新生子馬不適応症候群の原因と治療に関する検討

宮越大輔 (NOSAI みなみ 家畜高度医療センター)

3. 一牧場における HIE に対する早期診断・治療

大久保正人 (ノーザンファーム)

4. 新生子溶血症 症例報告

小笠原 慶 (NOSAI みなみ 西部家畜診療センター)

5. 新生子における屈曲異常と甲状腺ホルモンについて

敷地光盛 (エルムホースクリニック)

**【JRA との共催シンポジウム】**

(Room 115 : 12月3日(月) 13:10-15:40)

座長: 松田芳和 (JRA 馬事部) ・ 中西信吾 (日本軽種馬協会)

テーマ: 競馬産業の国際化 - これまでの取り組みと将来 -

1. 日本の Part 1 国入りまでの道のり

山野辺 啓 (JRA 馬事部)

2. (JPN) を国際ブランドに

松田 薫 (日本軽種馬協会)

3. 施設面から見た各国の競馬場

高田順一 (JRA 施設部)

4. 安全な国際間移動の仕組みづくり

山中隆史 (JRA 馬事部)

5. 海外から見た日本競馬

吉田直哉 (ウインチェスターファーム・米国)

## 6. 企業展示

動物用医薬品、動物用医療機器、生産資材、および書籍等の展示  
展示会社は、医薬品医療機器等法および関係法規の規定に則ることとします。

**※展示会場は、メイン会場である KFC ホールと同じ3階に準備できることになりました。  
エスカレーターをはさんで反対側ですので、動線が非常によくなります。**

## 7. その他

会期中は展示会場にて、昼食用軽食およびソフトドリンクのサービスを行う。  
また、ランチョンセミナーではメイン会場である KFC ホール内でお弁当を配布し、セミナーを行う企業の情報提供を支援致します。

【参考】 日本ウマ科学会の役員構成

(2018年9月1日現在)

会長	青木 修		
副会長	田谷一善		
	田嶋義男		
常任理事	近藤高志	庶務担当	
	半澤 恵	会計担当	
	楠瀬 良	編集担当	
	石田信繁	学術担当	
	桑原正貴	国際担当	
	和田隆一	広報担当	
	佐々木直樹	臨床担当	
理事	間 弘子		天谷友彦
	上田 毅		河合正人
	川嶋 舟		黒澤雅彦
	小玉剛資		近藤誠司
	中西信吾		平賀 敦
監事	岩崎幸治		
	末崎真澄		
事務局長	太田 稔		

### Ⅲ 協賛企業等（スポンサー）の特典

ご協賛金のお申し込みをいただくスポンサーのタイプには、「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」、「銅」および「ブロンズ」の5種類を用意しております。

また、メイン会場である KFC ホール内でお弁当を提供しながら、情報提供できるランチョンセミナーも2社様（各日1社）にご提供できます。

1. **プラチナ・スポンサー**（協賛金：80万円＋消費税）先着企業2社様まで
  - 1) 3階のメイン会場である KFC ホール横の展示会場に、企業展示ブース（2ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは2ブース分で横幅×底面が3.6m×1.8m（予定）です。
  - 2) プログラムのスポンサー一覧に目立つ文字で企業名等を掲載します。
  
2. **ゴールド・スポンサー**（協賛金：50万円＋消費税）
  - 1) 3階の展示会場に、企業展示ブース（2ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは2ブース分で横幅×底面が3.6m×1.8m（予定）です。
  - 2) 企業展示の場所について最優先でご希望をお伺いします。
  - 3) プログラムのスポンサー一覧に目立つ文字で企業名等を掲載します。
  
3. **シルバー・スポンサー**（協賛金：30万円＋消費税）
  - 1) 3階の展示会場に、企業展示ブース（1ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは1ブースの横幅×底面が1.8m×0.9m（予定）です。
  - 2) プログラムのスポンサー一覧に企業名等を掲載します。
  - 3) ※複数企業が協同で協賛し、企業展示を行う場合、連名で、シルバー・スポンサー以上でお申込み下さい。
  
4. **銅・スポンサー**（協賛金：18万円＋消費税）
  - 1) 3階の展示会場に、企業展示ブース（1/2ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは横幅×底面が0.9m×0.9m（予定）です。
  - 2) プログラムのスポンサー一覧に企業名等を掲載します。
  
5. **ブロンズ・スポンサー**（協賛金：10万円＋消費税）
  - 1) プログラムのスポンサー一覧に企業名等を掲載します。
  - 2) 企業展示ブースは用意しません。
  
6. **ランチョンセミナー**（各日1社様限定。協賛金：30万円＋消費税）
  - 1) ランチョンセミナーを、12月3日または12月4日に開催可能です。
  - 2) 日程の優先選択権は、プラチナ、ゴールド、シルバーのスポンサーの順です。

#### IV 協賛金のお申し込み要領

1. 協賛金の名称：第31回日本ウマ科学会学術集会協賛金
2. 申込期日：平成30年10月19日(金)（協賛金の納入は11月30日までです）
3. 協賛金の使途：第31回日本ウマ科学会学術集会の運営費用ならびに学会活動費用
4. 申込方法：別紙「協賛金申込書」にご記入の上、下記の担当係までFAX、郵送またはe-mailにて申込書をお送り下さい。
5. 協賛金申込宛先およびお問い合わせ先：  
〒158-0086 東京都世田谷区尾山台3-10-9 アームズ株式会社 内  
日本ウマ科学会学術集会 企業協賛事務局  
FAX：03-6324-6781 e-mail：[info@ahrms.jp](mailto:info@ahrms.jp)
6. 複数企業による協同展示の際のお願い：  
複数企業が協同で協賛し、企業展示を行う場合、連名で、シルバー・スポンサー以上でお申込み下さい。
7. 展示資材返送時のお願い
  - 1) 展示終了後、展示資材の返送は、事務局で請け負うことはできません。  
展示資材の返送は、各社にて行って下さいますようお願い致します。

**第 31 回日本ウマ科学会学術集会  
協 賛 申 込 書**

〒158-0086 東京都世田谷区尾山台 3-10-9 アームズ株式会社 内  
日本ウマ科学会学術集会 企業協賛事務局 行  
FAX : 03-6324-6781 e-mail : [info@ahrms.jp](mailto:info@ahrms.jp)

平成 30 年 月 日

第 31 回日本ウマ科学会学術集会への協賛を申し込みます。

会社／団体名				印
ご担当部署		ご担当者名		
所在地 (案内をお送りする場所)	〒 ー			
電話		FAX		
ご担当者様 e-mail				
備考	請求書の品名（協賛金、ブース費用）、請求書の分割、宛名などご指示があればご記入下さい。その他支払に関する特記事項お問合わせでも結構です。			

希望されるスポンサーのタイプにチェック下さい。

チェック	スポンサータイプ	
	プラチナ・スポンサー	(協賛金 80 万円+税)
	ゴールド・スポンサー	(協賛金 50 万円+税)
	シルバー・スポンサー	(協賛金 30 万円+税)
	コッパー・スポンサー	(協賛金 18 万円+税)
	ブロンズ・スポンサー	(協賛金 10 万円+税)
	ランチョンセミナー	(協賛金 30 万円+税)

※協賛金には、別途消費税がかかります。

本申込書にご記入捺印の上、FAX、郵送または e-mail にスキャン画像を添付のいずれかで、ご送付下さい。到着後、請求書を発行させていただきますので 11 月末締めでお支払いをお願い致します。尚、恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担下さい。

※ 展示資材返送の代行を事務局では行いません。あらかじめご了承下さい。  
また、自社で手配される場合を除き、返送時のヤマト便のご利用は不可とします。  
(展示資材返送は自社で行うことを了承する)

\_\_\_\_\_  
ご署名